

# ごけん

平成 26 年

秋

号

## 日本語検定 実施予定

平成 26 年度第 2 回 (通算第 16 回)

[一般会場] **11月8日(土)**

[準会場] **11月7日(金)・8日(土)**

[申込期間] **8月1日(金)~10月10日(金)**

後 援：文部科学省／日本商工会議所  
経団連事業サービス／全国連合小学校長会  
全日本中学校長会／全国高等学校長協会  
全国工業高等学校長会／全国商業高等学校協会  
全国高等学校国語教育研究連合会  
日本 PTA 全国協議会  
全国高等学校 PTA 連合会  
日本青少年育成協会 他

特別協賛：読売新聞社

協 賛：時事通信社／東京書籍



日本語検定公式キャラクター「にほんごん」

## もくじ

ごけんインタビュー 佐々木毅	— 2
ごけん情報板	— 4
会場レポート	— 5
採点室から	— 6
受検団体の声	— 8
にほんごん にほんご劇場	— 10
受検案内／プレゼント・クイズ	— 12

特定非営利活動法人

 **日本語検定委員会**

## 気づくことで、日本語も人生も豊かになる

### —グローバル化の時代だからこそ日本語力—

#### 話す力が重視される時代へ

日本語検定の立ち上げの話がきたのは、ちょうど法科大学院ができるなど、専門知識やスキルを身につけることを重視する傾向が強まった時期でした。日本語を磨きたいというニーズに応えようということで、日本人のための日本語検定が始まりました。

語学力やプレゼンテーション能力など、いろいろな形で言葉との関わりを重視するような話題は以前よりも確かに増えましたし、今でも言葉の力を重視する傾向は続いていると思います。言葉の力の重要性が盛んに言われるようになった背景には、無口であることに対するプラス評価がだんだん減ってきた、ということがあるのかもしれないですね。

私の世代が若い頃の日本は、高度経済成長期で、とにかく汗を流して働いて、何かを生産するということが重視されていました。これはつまり「労働価値説」ですね。何も話さなくても、いいものを作れば生きていける、という固定観念があったんです。日本社会はずいぶん長い間、「労働価値説」的文化の中であって、人の話を聞いていろいろな情報を得たり、情報を通してサービスを得るということに対する評価が低かったのだらうと思います。

それが、グローバル化との絡みなどもあって、話す力やコミュニケーション能力が重視されるようになってきた。つまり、ものづくり中心からだんだんコミュニケーション中心にいろいろな価値が創造されるようになってきて、情報、あるいはコミュニケー

ション能力それ自体が独立した価値として評価される側面が出てきたということなのでしょうね。

#### グローバル化の時代だからこそ日本語力

仕事で海外に赴いたり、英語で講演したりする中で感じるのは、英語で話すにしても、日本語で考えている内容抜きに、コミュニケーションはあり得ないということです。

私が海外で講演をするときに一番ありがたい褒め言葉だと受け止めるのは、「あなたの話には内容 (substance) がある」と言われたときです。そういうふうに言われる話は、自分の頭で考え抜いて、自分なりに整理をして、自分なりに解答、あるいは方向性を導き出しているものです。その「考える」という行為は、多くの日本人はやはり日本語の世界の中で、あるいは日本語を通して行うわけです。

言葉というのは単なる話すツールではなくて、考えるため、あるいは考えを発展させるためにも必要なんですね。そして、その思考の内容を豊かにするためにも、私は言葉が重要なのだと思っています。

コミュニケーションの世界というのは、通り一遍のことを話せばそれでいいという世界ではない。相手を「なるほど」、「ゆっくり話を聞きたい」という気持ちにさせるようなものをもっていないと、コミュニケーションは展開していかないんですね。そういう意味では、やはり日本人の場合—これはどこの国の人でもそうだと思うけれど—母国語というのは、本人たちが思っ

ている以上にツールを超えて自分たちを支配しているという面があると思うんです。

#### 言葉は人間を支配する

言葉というのは、このように思考力と密接に関連しているんですね。だから、なかなか他の言葉と取りかえたりできないし、ときには、表現したいことを、表現してくれる言葉が見当たらないことも、もちろんあると思います。そこで新しい言葉をつくり出すこともあるかもしれない。新しい言葉は、新しい事実なり現実なりが発見されるということと、つながっていますから。

たとえば、キリスト教の「原罪」の概念などは、その概念が入ってきた途端、自分の人生観がガラッとひっくり返ったり、変わったります。あるいは、「階級支配」という言葉が生まれることで、世の中が全然違ったように見えてきて、世の中が動いてしまう。

そういう意味では、言葉が人間を支配している。だけど、その言葉を誰がつくったかということ、やはり人間がつくっている。言わば、人間が言葉を支配しているとも言える。人間は自分たちがつくった言葉によって支配されながら、ときどき反乱を起こして、新しい言葉をつくったり、その言葉の意味を変えたりしながら、新しい世の中をつくっていく、ということになるわけです。

#### コミュニケーションは相手がいてこそ—気づきの大切さ—

コミュニケーションというのは、相手というのが非常に大事なんですよね。いい相手が見つければ、日本語もいろんな形で刺激を受けて展開をする。そういう意味では、よい環境というのは大事なことです。反論してくれる人、質問してくれる人、疑問を出してくれる人は、その人の人生において



佐々木 毅 (ささき たけし)

1942年秋田県生まれ。専攻は政治学、西洋政治思想史。法学博士。東京大学法学部教授、東京大学総長、学習院大学法学部教授などを歴任。現在は、公益社団法人国土緑化推進機構理事長、日本語検定委員会副理事長。著書に『政治学講義』(東京大学出版会)『政治学の名著30』(ちくま新書)『マキアヴェッリと「君主論」』『プラトンの呪縛』以上、(講談社学術文庫)『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまブリマー新書)『現代政治学の名著』(中公新書)『政治学は何を考えてきたか』(筑摩書房)ほか多数。

大変ありがたい存在なんだろうと思います。

そして、「気づく」ためには日本語検定の試験も一助となります。否応なしに自己満足の世界から追い出されるわけですから。まずは試験を受けて、自分に足りないものや誤った認識などに気づくことが重要です。そして、自分の結果として返ってきたものをベースに、さらに自己研鑽に励む、というのがひとつの在り方です。

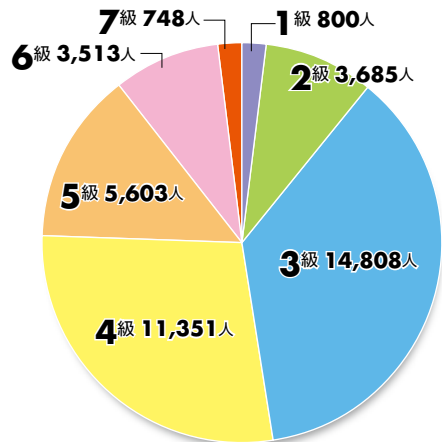
日本語検定を通して、気づかされる人が多くなると、日本語がだんだん豊かなものになっていくのだらうと思います。日本語が豊かになると、精神的にも豊かになります。そして、そういう人たちがまたお互いに気づかされるということを繰り返していけば、輪は広がっていくわけですね。

## ごけん情報板

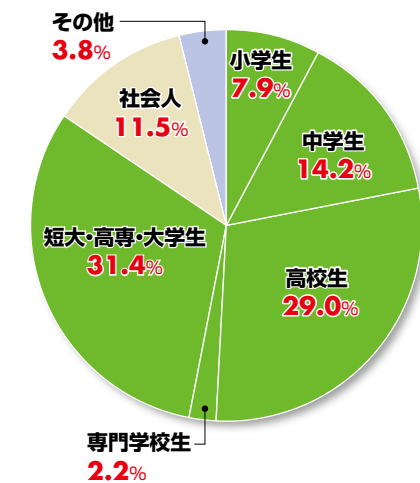
おかげさまで、日本語検定は今年、8年目を迎えました。このコーナーでは、今年6月に実施いたしました、平成26年度第1回（通算第15回）日本語検定について、各級の受検者数などのデータをご紹介します。

◎平成26年度第1回（通算第15回）

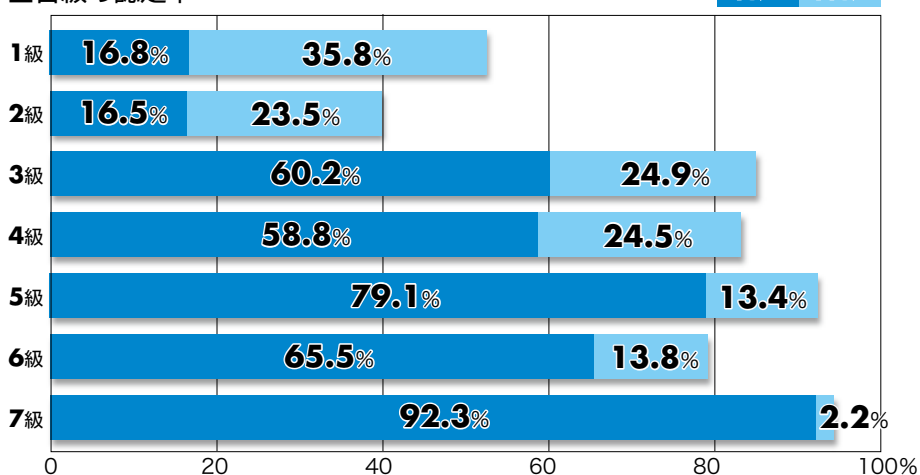
■受検者総数と級別受検者数 計 **40,508人**



■受検者の学校・所属別割合



■各級の認定率



## 会場レポート

東京23区会場・大正大学



社会人を中心に1,284人が1級から7級に挑戦した大正大学（東京23区一般会場）では、梅雨の晴れ間の強い日差しの中、半袖シャツなどの軽装で会場入りする受検者が目立ちました。

校舎内では試験開始ま

でのわずかな時間も惜しんで問題集に目を通す人の姿があちこちで見られるなど緊張感が漂い、開始15分前には、監督者の注意事項の説明に耳を傾けていました。

会場となった教室は、階段式の大きな教室から、30人ほどで満杯となる小教室までありましたが、受検者は級によって午前と午後に分かれ、それぞれ受検しました。

## 第6回「日本語大賞」作品募集！

下記のテーマについての、エッセイ、作文を募集いたします。

### 「今、伝えたい言葉」

テーマについて、自由な発想で書いてください。  
作品には、ふさわしい独自のタイトルを必ずつけてください。

●部 門：【小学生の部】【中学生の部】【高校生の部】【一般の部】

●募 集 期 間：平成26年8月1日（金）～9月30日（火）

●お問い合わせ：NPO法人日本語検定委員会 日本語大賞係

☎03-5390-7472

日本語検定HP <http://www.nihongokentei.jp>

メール contest@nihongokentei.jp

## 「漢字の意味を考えよう」

このコーナーでは、6月に実施した平成26年度第1回日本語検定で、特に正答率の低かった問題をご紹介します。漢字の熟語の意味や表記に関する問題で、正答率の低いものが各級に見られました。

■4、5級では、共通する漢字を含む熟語の意味を考える問題で、正答率がかなり低いものがありました。

### ○5級より

問：【      】の中の言葉と反対の意味の言葉を選んで、番号で答えてください。

#### 【民営】

[ 1 都営    2 公営    3 私営 ] (答え：2—正答率 37.0%)

★「民営」は、民間の会社や団体が事業を運営すること。反対の意味を表すのは2「公営」で、国や都道府県など、公の団体が事業を運営することをいいます。1「都営」は、「公営」の一つで、東京都が事業を運営すること。3「私営」は、私企業、つまり民間の会社が事業を運営することで、「民営」と似た意味の言葉です。

### ○4級より

問：(      )に入る言葉として、最もふさわしいものはどれでしょうか。番号で答えてください。

捕鯨は動物虐待だという意見は、西洋中心の(      )な考え方だと言う人もいる。

[ 1 偏見    2 偏向    3 偏狭 ] (答え：3—正答率 31.3%)

★「～な(考え方)」の形で用いられるのは、3「偏狭」だけです。ものの見方や考え方がかたよっていて、度量が狭い様子を表します。1「偏見」は、根拠のない、一方的でかたよったものの見方や考え方のことで、「それは偏見だ」のような形でよく用いられます。2「偏向」は、ものの見方や考え方が公正さを欠き、ある面にかたよっている傾向で、「偏向する/した」の形でよく用いられます。

■1～3級では、漢字表記の違いを指摘する問題で、正答率が10%台のものがいくつかありました。

### ○3級より

問：次の文には、パソコンで入力したときの変換ミスが一つあります。誤っている言葉の正しい書き方を解答欄に記入してください。

戦国時代、キリスト教に入信し、その伝動に寄与した大名の存在が知られている。

(答え：伝道—正答率 12.5%)

★キリスト教の教えを伝え広めたという文脈ですから、多くの人に教義を説明し信仰を広めるという意味の「伝道」が適切な表記です。「伝動」は、発生させた動力を、同じ機械の他の部分、または他の機械に伝えるという意味です。

### ○2級より

問：(3級と同じ)

演奏終了と同時に会場は万来の拍手に包まれ、感涙にむせぶ聴衆も大勢見られた。

(答え：万雷—正答率 10.5%)

★大勢の人々が盛大に拍手をする様子を雷鳴にたとえた、「万雷(の拍手)」が適切な表記です。「万来」は、多くの人々が訪れるという意味で、「千客万来」の形でよく用いられます。

### ○1級より

問：次の文の——部分の漢字表記が適切である場合には○を、適切でない場合には×を解答欄に記入してください。

近代オリンピックは、第一次・第二次世界大戦による中止など、その時々国際情勢にたびたび 奔弄 されてきた。

(答え：×—正答率 18.7%)

★国際情勢によってオリンピックの開催状況が左右されてきたという文脈ですから、思うままにもてあそぶという意味の「翻弄」が適切な表記です。「翻」は、あっちへ行ったりこっちへ来たりするという意味などを表し、「ひるがえる/ひるがえす」などと訓読みします。「弄」は、からかう、また、自由に操るといった意味などを表し、「いじる」「もてあそぶ」などと訓読みします。一方、「奔」は、勢いよく走る、また、脱走するという意味などを表し、「奔走」などと用いられます。

ここに挙げたのはいずれも、会話より文章の中で多く目にする熟語ですが、正確な意味や表記となると、自信のない人も多いのではないのでしょうか。それぞれの漢字の意味をよく考えながら、文脈に合った用法や表記になっているか、日頃から注意するようにしましょう。



## コミュニケーション・スキルの向上に期待

川崎市立川崎高等学校（定時制）教諭 松本智春先生

本校では、ここ数年キャリア教育に力を注いできました。生徒たちは、いずれ社会に出て自立していかなければなりません。しかし、生徒たちは、なかなか希望する進路を実現することができません。希望通りに就職した生徒も職場でうまくやっつけず、あっという間に離職してしまうこともありました。

この原因を一言で言ってしまうと「コミュニケーション・スキルの不足」に行きつく、私たちはそう考えました。しかし当初は、どこから対策の手をつけてよいのかわかりませんでした。

そこで、コミュニケーション・スキルを「社会で生活するために必要な適切な表現力」と言い換えてみました。するといくつかの取り組むべき課題が見えてきました。私たちは「会話表現力」「文章表現力」「態度表現力」この3つが社会で必要であり、これがコミュニケーション・スキルの土台を支え、向上に結びつくものだと考えました。

日本語検定は、その中の「会話表現力」「文章表現力」の向上を主なねらいとしているので、「コミュニケーション・スキル」の土台作り最適と判断しました。また、今年度より教材も活用して、認定をめざし日々取り組んでいます。「敬語」「文法」などは、特に進路指導の場面にも直結する内容であり、日頃のキャリア教育との関連の中で、生徒たちも前向きに取り組むことが出来ます。また最近「語彙」「表記」も会話や文章の表現を豊かにする上で必要であることがわかってきたようです。

団体受検への参加は、生徒自身の表現力向上を自覚する目安になると考えて取り組んでいます。ひとつの目標を達成することが、コミュニケーション・スキルの向上と生徒の自信につながることを期待しています。



## ネット時代ゆえに生きる日本語検定

進学個別校舎舎 塾長 亀山卓郎先生

近年、インターネットが急速に普及し、ありとあらゆる情報がネットで検索出来る時代になりました。とともに、人と人とのコミュニケーションもまた、EメールやSNSを介することが多くなり、またブログやウェブサイトで個人でも情報発信の出来る時代になっています。実際、私もブログ・Twitter・Facebookで情報発信したり、社内SNSで業務日報を見たり社内コミュニケーションを図ったりすることが日常になっています。

ネット上の情報の大半は「文字情報」です。つまり、ネットが普及するにつれて、言葉、特に文字や文章で正確に意図を伝達したり読み取ったりする能力が強く求められて来ていると感じます。スマホやPCが必需品になり、またネットが更に進化するであろう未来を生



## 言葉に強い女性を育てる

十文字学園女子大学 短期大学部 表現文化学科 星野祐子先生



2015年度に開設される四年制の文芸文化学科では「言葉に強い女性を育てる」ことをコンセプトに、体系的な日本語カリキュラムを編成しています。必修の日本語科目は、少人数クラスで実施され、豊かな語彙力、正しい言葉遣い、相手に伝わる表現力を修得することを目標とします。こうした実践的なカリキュラムの最初に置かれる科目が「日本語基礎」。テキストに『ステップアップ日本語講座』を用い、日本語検定の出題範囲に準拠した内容を学びます。同書は、日本語検定と同様に6領域で構成され、受検の動機付けとしても検定対策としても効果的です。

本学では日本語検定の団体受検を2010年度から行っていますが、学生にとって検定の受検は、自らの言葉を見つめ直す機会になると同時に、日本語に関心を持つ契機ともなっているようです。日頃意識しない日本語のメカニズムやその特徴を考える—そうした経験を積み重ねていくことで、日本語表現の奥深さ、繊細さを実感することができます。そして、日本語を大切に思う気持ちが、言葉の芸術である文学を深く読み解いたり、想いや考えを発信したりする力につながるのではないのでしょうか。

また、母語である日本語を意識し、それを慈しむ姿勢は、就職活動にも活かされます。語彙力や文章力、コミュニケーション力が十分でなければ、長所や熱意を伝えることができないからです。豊かな表現力を支えるのは確かな日本語力。今後も、大学における学びの基礎作りとして、日本語検定受検の取り組みを推進していきます。

文芸文化学科 <http://www.jumonji-u.ac.jp/department/culture/index.html>

る若者達に一番求められるのは、実はとてもレトロでアナログな「文字情報」というツールで正確に意思伝達をする力であるということは何とも皮肉な感じがします。それほど「言葉」「文字」の発明は人類史上超えることが出来ないほどの大きなものだったのでしょう。

「国語力の低下」というのは以前から指摘される問題ですが、前述の通り今ほど国語力の重要性が高い時代はないはずですが、ただここで言う国語力とは、小説や詩を情緒的に読むような感性的なものではなく、論理的なコミュニケーションツールの一つとしての国語力です。私は長年塾の現場にいて、今までの国語教育はこの部分が軽視されて来た気がしています。ですから、社会人になってから、「文章で伝達が出来ない」「ボキャブラリーが少ない」「正確に伝達が出来ない」というケースをよく見かけます。報告書が書けない、企画書が書けないといって苦労している人を見ると、国語教育の重要性を改めて感じます。

私立中学受験生に文法的に正確に文章を読む練習をさせたり、公立中高一貫校の受験講座で適性検査対策の指導をしていると、子ども達の「記述力」や「伝達力」がみるみる上がっていくのがわかります。言葉を自由に使いこなせるようになると、当然のことながら「思考力」「表現力」もついてきます。その国語指導の一環として、当塾では小学生に日本語検定の受検を勧めています。あらゆる角度から日本語能力を問われる、なかなかハードな検定ではありますが、意外にも子ども達は「受けてみたい」と言います。

まだ「無邪気な好奇心」がある小学生のうちに、言葉に対する「敏感さ」や「正確さ」を養うことが重要だと考える当塾の教育方針にとって、今やこの日本語検定はなくてはならない重要な位置を占める検定となっています。



絵：福政 真奈美

「好きこそものの上手なれ」

人は好きなものに対しては、熱心に努力するので、上達するものということ。

印刷テクノロジーで、  
世界を変える。

TOPPAN

凸版印刷株式会社 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番地 www.toppa.co.jp



トッパン・フォームズ株式会社

本社 〒105-8311 東京都港区東新橋1-7-3 TEL.03-6253-6000 http://www.toppa-f.co.jp/

TOPPAN FORMS

Training of ANA  
人とビジネスにANAの研修力



ANAが培ってきたノウハウを凝縮した研修プログラムで人材育成をお手伝いします。  
※公開講座・講師派遣2形態で展開しています。

精通&  
ビジネスマナー

接客とはお相手と心通じ合うように  
話すこと(おもてなしをする)。  
言葉遣いの大切さなどをお伝えします。

コミュニケーション

誰もが持つ潜在的なコミュニケーション力を  
引き出し楽しみながらみにつく参加型研修です。

研修に関してのご質問・ご相談は、  
お気軽にお問い合わせください。

ANA ANAビジネスソリューション株式会社 〒106-0074 東京都港区浜松町4丁目10-15  
TEL.03-5791-2910 受付時間:11:00-17:00(土日祝日を除く) http://www.anakenshu.com/

平成26年度  
第2回

# 日本語検定 受検案内

[一般会場] **11月8日(土)**

[準会場] **11月7日(金)・8日(土)**

[申込期間] **8月1日(金)～10月10日(金)**

[実施都市] 全国の約100都市で実施予定

[受検級の目安と受検料] ※受検料は税込価格です。

受検級	各級のレベル	受検料	受検の目安						
			社会人	大学生	高校生	中学生	小学校高学年	小学校中学年	小学校低学年
1級	社会人	6,000円							
2級	大学卒業程度	5,000円							
3級	高校卒業程度	3,500円							
4級	中学校卒業程度	2,000円							
5級	小学校卒業程度	1,500円							
6級	小学4年修了程度	1,500円							
7級	小学2年修了程度	1,400円							

公式ホームページ <http://www.nihongokentei.jp>

## プレゼント・クイズ

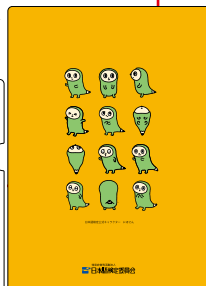
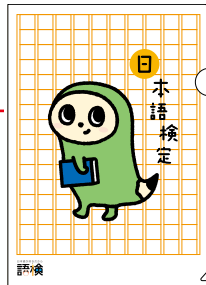
問題：「にほんご にはほんご劇場」で取り上げたことわざは何でしょうか。

○の部分を持って完成させてください。

『好きこそものの○○なれ』

抽選で5名様に、オリジナル『にほんごクリアファイル』『にほんごメモ』セットをプレゼントいたします。はがきに、クイズの答えと、お名前、性別、年齢、ご住所、ご連絡先（お電話番号またはメールアドレス）を明記のうえ、日本語検定委員会までお送りください。平成26年11月30日の消印まで有効です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

(応募の際の個人情報は、本プレゼント以外には使用しません。)



特定非営利活動法人  
**日本語検定委員会**

〒114-8524 東京都北区堀船 2-17-1

[お問い合わせ先] **0120-55-2858**

<http://www.nihongokentei.jp>

ごけん 平成26年秋号 (No.16)